

常態化する嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練に抗議する意見書

米軍は嘉手納基地において、令和元年10月29日午後6時半頃から7時半頃にかけて4回にわたり、約20人の兵士がパラシュート降下訓練を強行した。同基地でのパラシュート降下訓練は、平成8年の日米特別行動委員会（SACO）の最終報告において伊江島補助飛行場での実施が合意されて以降、今年4度目で過去最多となった。

同日昼頃、在沖米海兵隊が伊江島補助飛行場において同様な訓練を実施していることから、今回の訓練は天候を理由とする例外事由には当たらず、SACO合意違反であり断じて容認できない。

本町をはじめ嘉手納基地に隣接する自治体や沖縄県、日本政府の中止要請を押し切り降下訓練を強行した上で、訓練翌日に在日米軍司令官が訓練を正当化し、住民感情を無視した身勝手な発言に対し、町民の怒りは頂点に達しつつあり強い憤りを禁じ得ない。

河野太郎防衛相は、同日午前中の記者会見において「明らかにSACO合意に反する」と強い抗議の意を示したが、在日米軍司令部は同日夜ツイッターにて「米国と日本政府の二国間協定に従った」と発表したとの報道があった。このことは「パラシュート降下訓練の例外的措置」に関する日米合意の解釈に未だ齟齬があることの証であり、日本政府は、米側に対し同問題解決に向けより毅然とした態度で臨むよう求める。

今後も平成19年の日米合同委員会における「嘉手納基地を例外的な場合に限って使用する」との見解を盾に訓練が常態化すれば、平成18年の米軍再編ロードマップで合意された嘉手納飛行場の負担軽減に逆行し、嘉手納基地の機能強化に繋がることは明白である。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、常態化する嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練に対し厳重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要求する。

記

- 1 嘉手納基地において米軍パラシュート降下訓練を実施しないこと。
- 2 日米合同委員会において確認された「パラシュート降下訓練の例外的措置」を撤廃すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年11月1日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官（沖縄基地負担軽減担当）
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使（沖縄担当） 沖縄防衛局長
沖縄県知事

常態化する嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練に抗議する決議

米軍は嘉手納基地において、令和元年10月29日午後6時半頃から7時半頃にかけて4回にわたり、約20人の兵士がパラシュート降下訓練を強行した。同基地でのパラシュート降下訓練は、平成8年の日米特別行動委員会（SACO）の最終報告において伊江島補助飛行場での実施が合意されて以降、今年4度目で過去最多となった。

同日昼頃、在沖米海兵隊が伊江島補助飛行場において同様な訓練を実施していることから、今回の訓練は天候を理由とする例外事由には当たらず、SACO合意違反であり断じて容認できない。

本町をはじめ嘉手納基地に隣接する自治体や沖縄県、日本政府の中止要請を押し切り降下訓練を強行した上で、訓練翌日に在日米軍司令官が訓練を正当化し、住民感情を無視した身勝手な発言に対し、町民の怒りは頂点に達しつつあり強い憤りを禁じ得ない。

河野太郎防衛相は、同日午前中の記者会見において「明らかにSACO合意に反する」と強い抗議の意を示したが、在日米軍司令部は同日夜ツイッターにて「米国と日本政府の二国間協定に従った」と発表したとの報道があった。このことは「パラシュート降下訓練の例外的措置」に関する日米合意の解釈に未だ齟齬があることの証であり、日米両政府においては、同問題解決に向け早急に取り組むべきである。

今後も平成19年の日米合同委員会における「嘉手納基地を例外的な場合に限って使用する」との見解を盾に訓練が常態化すれば、平成18年の米軍再編ロードマップで合意された嘉手納飛行場の負担軽減に逆行し、嘉手納基地の機能強化に繋がることは明白である。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、常態化する嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練に対し厳重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要求する。

記

- 1 嘉手納基地において米軍パラシュート降下訓練を実施しないこと。
- 2 日米合同委員会において確認された「パラシュート降下訓練の例外的措置」を撤廃すること。

以上、決議する。

令和元年11月1日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官
在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長